

クレジットカード決済を始めました

コロナ禍において、メディアでは「接触」や「三密」を防止するよう呼びかけが頻繁にされています。感染防止の施策として、キャッシュレス決済が推奨されています。医療機関は、感染拡大のリスクを少しでも減らし、おこななければなりません。

そこで2021年5月より、当院ではキャ



ッシュレス決済が出来るように致しました。どうぞご利用ください。使用できるカードは次のカードです。

★VISA・JCB・MasterCard・AMEX（アメリカン・エクスプレス）・Diners（ダイナースクラブ）・Discover

★ご注意ください 現在のところ電子マネー・モバイル決済は取り扱っておりません。

★お支払方法 一括払いのみです。当院では初めての決済方法、スタッフもなるべく早く慣れるように頑張りますが、ご理解いただけますようお願い致します。

患者様インタビュー

当院通院中の患者様へ、健康維持の秘訣等をお伺いしてみました。

①今楽しんでいること

- ・1.5cmの折り鶴を折ること。
- ・20年前から奥様がくす玉を折っているのを見て影響され、最初は自分もくす玉を折っていた。今は1.5cmの折り鶴を折って千羽鶴にすること。
- ・スイカの苗を20本植えたが4本ダメになった。毎朝7時～8時の間に受粉をしに行く。今年は60個を目標にしている。
- ・収穫した野菜を周りの人にあげるのがうれしい。



②元気の秘訣

奥様の介護はマイペースで行っている。デイサービスに行っている間に畑の作業をしたり、疲れてきたら昼寝をする。気が向いたらテレビを見る。

以前は奥様とよくドライブに行っていた。社協の認知症カフェや男性の介護の会に奥様と参加し、情報交換や世間話をするのが楽しい。(80歳 男性)

ありがとうございました。

夜間頻尿

「皆さん、夜中に

トイレで目が覚めることはありませんか？」それは夜間頻尿かもしれません。夜間頻尿とは、夜中に排尿のために1回以上起きなければならぬ苦痛の訴えとされています。

2003年の調査によると、夜間頻尿患者は全国で450

0万人と推定されています。(日本排尿機能学会より)

夜間頻尿が実際に問題となるのは、夜間に2回以上起きる場合が多く、睡眠障害や日中の活力低下、夜間の転倒・骨折リスクなど日常生活への影響が大きいと言われています。

夜間頻尿の主な原因は、夜間の尿量が多い「夜間多尿」、眠

れないトイレに行くを繰り返す「睡眠障害」、少ない尿でトイレに行きたくなる「膀胱蓄尿障害」といったものがあります。

夜間頻尿の治療としては、男性では前立腺肥大症、女性では過活動膀胱として治療されることが多いですが、夜間頻尿患者の8割に夜間多尿が見られたとの報

告もあり、症状に応じて治療法がいくつもあります。年のせいには相談してみよう。



診療予約はこちら

電話予約：0799-62-5566 (診療時間内)
ネット予約：<https://ssc6.doctorqube.com/soyama-clinic/> (24時間)
携帯電話からは右のQRコードからでも予約できます

